

5 単元構想図 ○単元の目標 速さについて理解するとともに、求めることができるようにし、生活や学習に活用する能力を伸ばす。

|              |  |  |  |  |                                    |  |   |  |  |  |                             |
|--------------|--|--|--|--|------------------------------------|--|---|--|--|--|-----------------------------|
| しなやかに考える子ども像 | ・5年生のときに、混み具合を比べたときの考えを利用できないかな。                               | ・速さを比べるには、単位量当たりで考えると便利だ。<br><br>・公倍数の考え方は比べるものが多いと計算が大変だ。 | ・速さを比べるときは、時間を1にそろえた方が便利だ。<br><br>・時間を1にそろえると、商が大きい方が速いから分かりやすい。 | 1時間当りに進んだ道のりを求めるから、道のりを3時間でわればよいよ。<br>言葉の式に置き換えると、速さは、道のり÷時間で求められるよ。<br>長さでも広さでも数の大きい方が「長い」「広い」と言っているから、同じように速さも、かずの大きい方が速いにした方がいいよ。 | ・速さを求める公式から、道のりを求める公式もつくれるよ。       | ・時間をx時間として、道のりを求める公式に当てはめてみると、時間を求められる。            | ・時間を分数で表わすと簡単に計算できそうだ。<br><br>・小数だと割り切れないから表せないね。 | ・時間が2倍、3倍…になっているとき、道のりも2倍、3倍…になっているから、時間と道のりは比例の関係だ。 | ・速さを比べるには、時間をそろえる方がいいね。<br>・仕事の速さも単位時間で考えるとよさそう。<br>・小数でも表すことができるんだ。 | ・問題を数直線に表して考えてみよう。                         | ・公式を用いて解いてみよう。              |
| 時            | 1  | 2(①1組)   | 3  | 4(②2組)   | 5                                  | 6  | 7   | 8  | 9(②3組)   | 10   | 11                          |
| 目標           | 距離と時間のどちらも異なる場合の速さの比べ方を考えるを通して、速さは単位量当たりの大きさの考えを用いて表せることを理解する。 |  | 速さを変えて歩く時間や走る時間を測定する活動を通して、速さの表し方への興味を広げる。                       | 速さの意味を理解し、速さを求める公式をつくる。「時速」「分速」「秒速」の意味を理解する。公式を適用し、速さを求めることができる。   | 速さを求める公式を理解し、それを適用して道のりを求めることができる。 | 速さと道のりから時間を求める方法について理解する。                          | 時間を分数で表わして、速さの問題を解決することができる。                      | 速さが一定のときに、道のりと時間が比例の関係にあることを理解する。                    | 作業の速さも単位量当たりの大きさの考えを用いて比べられることを理解する。                                 | 学習内容を適用して問題を解決する。                          | 学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。       |
| 単元の構想        | 考え方  | 割合の考えを使うこと   |  |  |                                    |  |   |  |  |  |                             |
|              | 算数的活動  | 体験的な活動、式や言葉、数直線図などを用いて考えたり説明したりする活動                        |  |  |                                    |  |   |  |  |  |                             |
|              | 学習内容   | 走った距離、時間が異なる場合の速さの比べ方                                      | 単位量当たりの考えを使った速さの比べ方  | 歩く速さや走る速さを測定して表す活動   | 速さを求める公式「時速」「分速」「秒速」の意味            | 道のりを求める公式  | 速さと道のりから時間を求める方法                                  | 時間を分数で表し、速さを求める方法                                    | 時間と道のりの関係は比例であることを確かめる。  | 作業の速さを比べる。                                 | 学習内容の習熟                     |
| 既習事項         | 平均   |  |  |  | 文字と式                               |  | 時間と分数   | 文字と式   |  |  |                             |
| 評価規準         | 単位量あたりの大きさ   |  |  |  |                                    |  |   |  |  |  |                             |
|              | 【関】速さの比べ方を、単位量当たりの大きさの考えを用いて考えようとしている。                         | 【考】単位量当たりの大きさの考えを基に、速さの比べ方を式を用いて考え、説明している。                 | 【関】学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。                                   | 【考】速さの意味を理解し、速さを求める公式をつくることができる。   | 【知】「時速」「分速」「秒速」の意味を理解している。         | 【技】速さを求める公式を用いて、速さと時間から道のりを求める公式を導き、道のりを求めることができる。 | 【技】道のりを求める公式を用いて、速さと道のりから時間を求めることができる。            | 【知】時間を分数で表わして、手際よく問題を解決している。                         | 【考】速さが一定ならば、道のりは時間に比例することを理解している。                                    | 【考】単位量当たりの大きさの考えを用いて、作業の速さなどの比べ方を考え説明している。 | 【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。 |